大分市中心市街地における歩行者通行量変遷への回遊影響因子に関する研究
ー大規模施設の新設，閉鎖に着目してー

○グエン ティ フーン ジャン＊　姫野　由香＊＊　古海　裕実子＊

＊大分大学大学院工学研究科博士前期課程、＊＊大分大学福祉環境工学科・助教　博士（工学）、＊＊＊大分大学大学院工学研究科博士後期課程

1. 研究の背景・目的

全国の地方都市中心市街地

・1970 年代以降、モータリゼーションの進展し、中心市街地の賑わいの低下

・多くの都市で
「歩いて暮らせるコンパクトな集約型都市構造」を目指している

安全・安心・快適な歩行環境の整備により歩行者通行量，滞在時間の増加等が期待されている

大分市中心市街地

・JR 大分駅ビルの整備
・ホルトホール大分の整備
（複合文化交流施設）

▶ この周辺の歩行者通行量は、目標を上回る結果が得られた ▶ 「大規模施設」(＊) は高い集客力を有しており、回遊行動や、歩行者通行量に影響を及ぼすと考えられる

(＊) 大規模施設は延床面積 10000m^2 を超える商業施設と公共施設のことを指す

目的　大規模商業施設や公共施設整備等の大規模施設による歩行者通行量への影響を明らかにする

2. 研究方法

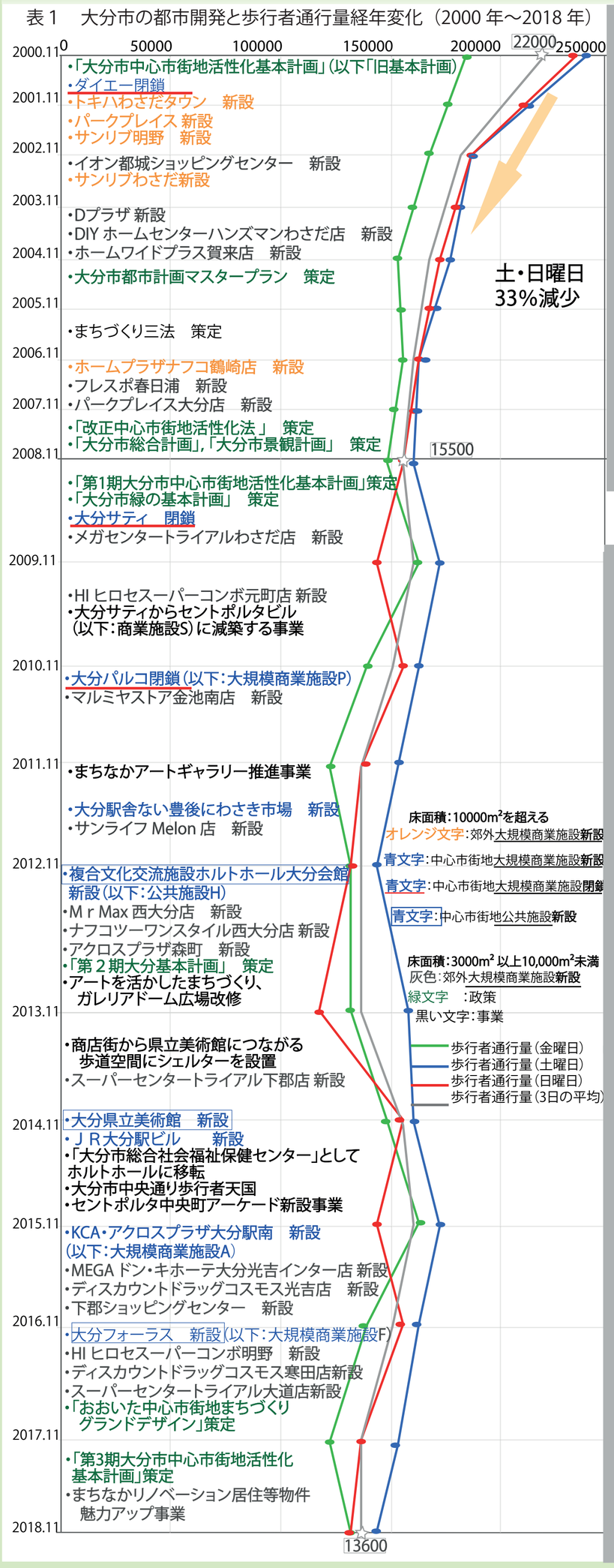
大規模施設設の新設や閉鎖，整備事業の都市開発の動向年表 ▶ 歩行者通行量の増減の要因

GIS による歩行者通行量を推計したデータ、大規模施設の立地 ▶ 大規模施設による歩行者通行量の増減への影響の程度

3. 研究対象区域と施設立地

4. 歩行者通行量の変遷と都市開発の動向

表１　大分市の都市開発と歩行者通行量経年変化（2000 年～2018 年）



（2000 年～2018 年）20 年データより

歩行者通通行量の変遷
・2008 年以前：　曜日に関わらず減少 (30%)
・2008 年以降：　曜日ごとに動きが異なり増減を繰り返す

2008 年を境に歩行者通行量の動きは異なる

都市開発動向
大規模施設の立地は
2008 年以前：郊外（オレンジ色）
2008 年以降：中心市街地（青色）

要因：
2008 年の第 1 期中心市街地基本計画策定時、特定地域 (1) 以外に大規模施設 (10,000m^2 以上) の立地が制限されたため
(1) 商業地域・近隣商業地域・準工業地域

2008 年以降に着目

● 2013 年～2015 年
歩行者通通行量が約 18%急増する

要因：

JR 大分駅ビル　公共施設 H　大分県立美術館
写真引用：大分市商工労働観光部 創業経営支援課ホームページ

公共施設が中心市街地に新設されたため

● 2009 年～2011 年、2015 年～2017 年
歩行者通通行量が約 14 %減少する

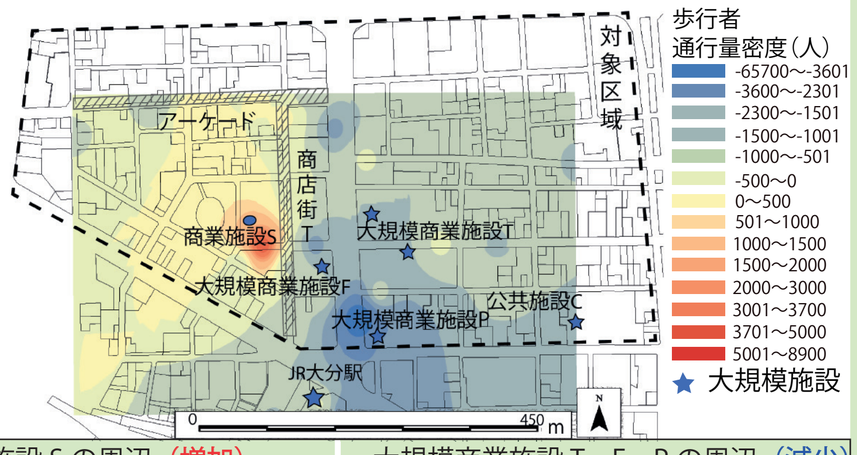
要因：

大規模商業施設 A　大規模商業施設 P　大規模商業施設 F
写真引用：都市商業研究所ホームページ

最寄り品を扱う大規模商業施設の新設より（大規模商業施設 A）
買回り品を扱う大規模商業施設の閉鎖の方（大規模商業施設 P、F）に強く影響を受けた

5. 大分市中心市街地における歩行者通行量の変化

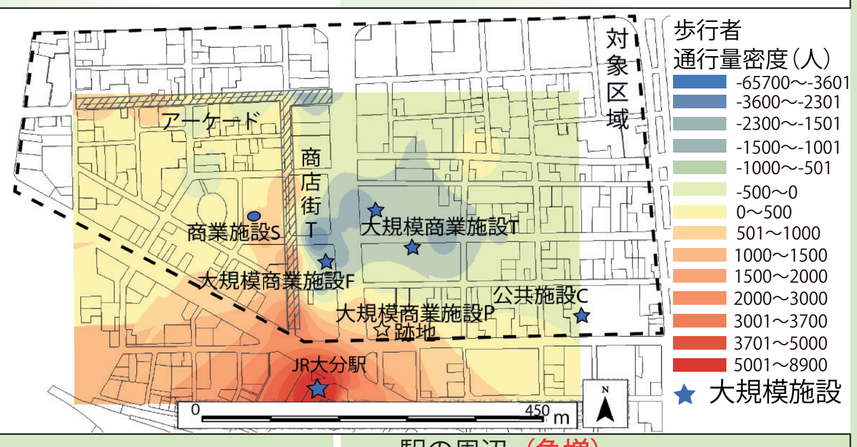
2009 年～2011 年



商業施設 S の周辺（増加）
2010 年に、中心市街地に最寄り品を扱う商業施設 S が新設されたため

大規模商業施設 T、F、P の周辺（減少）
大規模商業施設 P の閉鎖により、
・3 箇所（大規模商業施設 T、F、P）を買回る消費者が減少
・中央町 - 府内町を往来する人が減少

2013 年～2015 年

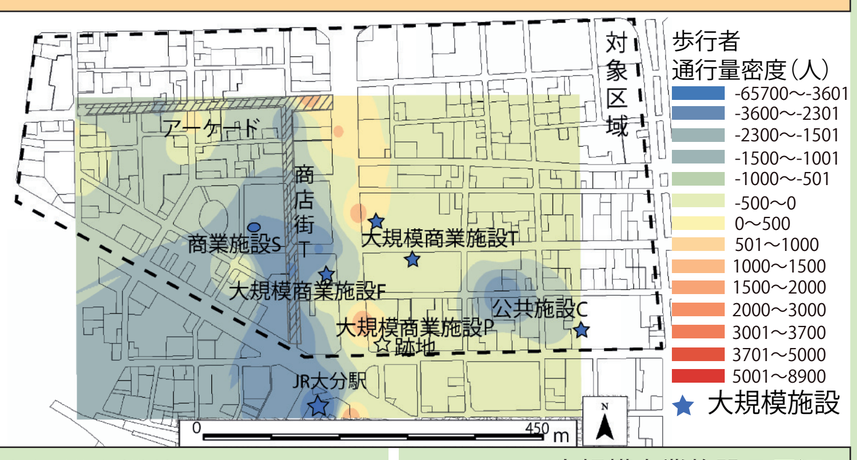


アーケード周辺（増加）
県立美術館とアーケードの一部の新設
駅から県立美術館まで連続した歩行空間として利用されるようになったためと考えられる

駅の周辺（急増）
大規模商業施設 T、F 周辺（減少）
・JR 大分駅ビル、公共施設 H の新設
・公共施設 C 等の機能の一部を公共施設 H に移転
周辺に立地していた様々な都市機能が大分駅周辺に集中→回遊行動の減少

大規模商業施設だけでなく、公共新設も歩行者通行量に影響している

2015 年～2017 年



駅・大規模商業施設周辺（減少）
大規模商業施設 F の閉鎖より、JR 大分駅ビルと大規模商業施設 F の回遊が減少

大規模商業施設 T 周辺（ほぼ変わらない）

若年層向けの商品を扱う大規模商業施設 F の閉鎖は百貨店である大規模商業施設 T の利用者数に影響していなかった

6. 総括

＜歩行者通通行量の変遷・都市開発動向＞

● まちづくり三法の改正により、郊外への大規模商業施設の建設が制限され 2008 年を境に歩行者通行量の動きは異なる

● 中心市街地においては、最寄り品店の新設より、買い回り品店の閉鎖が歩行者通行量に影響している

＜大規模施設の立地関係＞

● 大規模商業施設だけでなく、公共新設も歩行者通行量に影響している

● 若年層向けの商品を扱う大規模商業施設 F の閉鎖は百貨店である大規模商業施設 T の利用者数に影響していなかった